

Rhumoa

函館の女

星野哲郎——作詞

島津伸男——作曲

北島三郎——唄

♩ = 112

C F C G7 Am

C F G7 F C Am

G7 C C C V

(ハイ!) ははむ ーるばるーきたぜ
ーこだてーやまた
ーかえにーきまた

Am G7 C V

はこだてへー さな ーかまくーなみをのりこえてー
はこだてへー なつーほしをもよんでいるー
はこだてへー はてぬーゆめとしりながらー

Am C G7 C Am

あとおうなと いながた うしろすがたで ないてたきみを おもいだすたび
そんなきがして きてみ たがた あかりさめく まつかぜちょうは きみのうわさも
わすれられずとんでき たがた ここはきたぐに しぶきもおる どこにのるか

G7 C Am G7 (tacet) to 1.C

あいたくてと てもがまんがー ー できなかつたよ
きえはててとおひのきおかせー ー ここにしみ
このまのひとめただけでもー ー あいたか

Am G7 C Am G7

C 2.C D.S.

(ハイ!) ー

♩ Coda C Am F G7 C

よ

唄／北島三郎

函館の女

ひと

星野哲郎 作詞

島津伸男 作曲

男性的に

は



C V Am G7

ーるばるーきたぜ はこだてへ ー さ

C V Am

ーかまくーなみを のりこえて ー あとはおうなと

C G7 C

いいながら うしろすがたで ないてたきみを

C G7 C

おもいだすたび あいたくて と ても がまんが

[illegible]

1 はるばるきたぜ 函館へ
さか巻く波を のりこえて
あとは追うなと 言いながら
うしろ姿で 泣いてた君を
おもい出すたび 逢いたくて
とても我慢が できなかったよ

2 函館山の いただきで
七つの星も 呼んでいる
そんな気がして きてみたが
灯りさざめく 松風町は
君の噂も 消えはてて
沖の潮風 心にしみる

3 迎えに来たぜ 函館へ
見はてぬ夢と 知りながら
忘れられずに とんできた
ここは北国 しぶきもおる
どこにいいのか この町の
一目だけでも 逢いたかったよ

